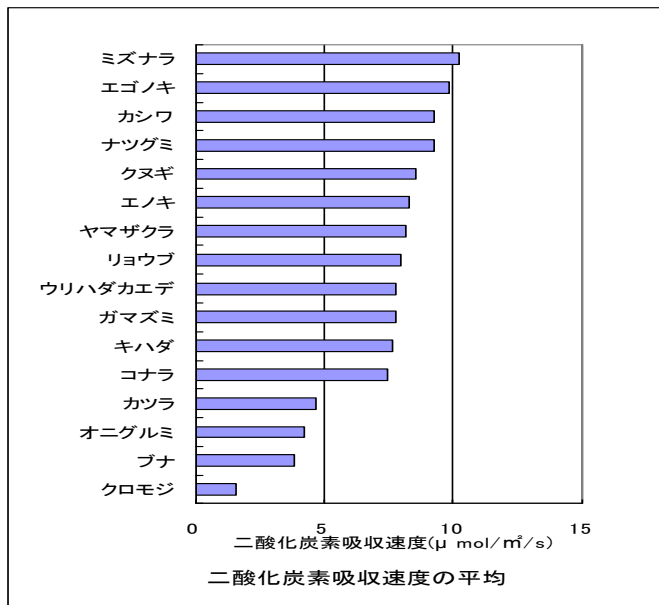


# 郷土樹種で都市緑化

埼玉県は都市化が著しく、身近な緑が減少傾向にあります。県では「ふるさと埼玉の緑を守る条例」を改正し、屋上や壁面の緑化も緑地面積として算定できるようになりました。

2009年に「屋上・壁面緑化マニュアル」を作成しましたが、今回、郷土樹種についても都市緑化に対する適性や環境改善能力等を明らかにし、マニュアルの追補版としてまとめました。

郷土樹種とは、埼玉県に生育する在来樹種のことです。



ナツグミの実



ウリハダカエデの紅葉

郷土樹種の二酸化炭素を吸収する速度と蒸散速度を測定し、環境改善能力を明らかにしました。

二酸化炭素吸収速度は、ミズナラ、エゴノキ、カシワ、ナツグミで速く、蒸散速度は、リョウブ、ミズナラ、エノキで速いことがわかりました。

二酸化炭素：温室効果ガスの一つ。

蒸散速度：水が葉から蒸散する速度で、気温低下に関する要素。

## 郷土樹種の特長（抜粋）

植物名	形態	CO <sub>2</sub> 吸収力	気温低下能力	耐乾燥性	大気汚染耐性	薄層土壌適応性	観賞ポイント
ウリハダカエデ	落・高	中	中	中	中	中	紅葉(11月)
ナツグミ	落・高	高	中	弱	中	高	花(4~5月)、実(6月)
ミズナラ	落・高	高	高	中	中	低	ドングリ(9~10月)、紅葉(11月)